

6月
定例会



VOI.21

いかた 議会だより

平成22年(2010年)8月20日

発行 伊方町議会

編集 議会だより編集委員会

電話 ☎-0211(内線410)

☎-2662(直通)



(平成22年7月25日)

今回の主な内容

6月定例会の動き・議員研修	2P~3P
一般質問	4P~5P
第18回・第19回臨時会報告	6P
県議長会研修・きなはいや伊方まつり	7P
委員会報告・議会日誌	8P



6月定例会の動き

第21回定例会は、6月23日～25日開催

報告4件、条例4件、補正予算3件
 契約4件、その他2件
 (すべて原案可決しました)

主な決定事項

報告

平成21年度伊方町一般会計繰越明許費繰越計算書について

翌年度繰越額

16億3,138万9,150円

地域活性化・公共投資臨時交付金事業(八西地域情報基盤整備事業(負担金)他27事業

平成21年度伊方町土地開発公社決算書の提出について

収益

7万8,231円

費用

15万9,400円

当期損失

7万2,709円

平成21年度株式会社アグリ瀬戸経営状況報告書の提出について

経常収益

5,792万2千円

経常費用

5,656万円

経常利益

136万2千円

税引後当期利益

100万5千円

寄付採納について

伊方町九町

得能鶴利氏より

社会福祉の増進に役立てて欲しいと30万円の寄附があったもの

条例

伊方町職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について

職員団体のためその業務を

行い、又は活動することができるとき場合として、時間外勤務代休時間を追加するため、本条例の一部を改正

伊方町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

例制定について

国家公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律により地方公務員の育児休業等に関する法律の一部が改正されることに伴い、本条例の一部を改正

伊方町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び雇用保険法の一部を改正する法律が施行されることに伴い、本条例の一部を改正

伊方町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

国民健康保険法の一部が改正されたことに伴い、本条例の一部を改正

補正予算

平成22年度伊方町一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ

4億5,262万9千円を

(単位：千円)

事業内容	予算額
配食サービス	7,587
果樹産地体質強化促進事業	10,026
畑かん施設ストックマネジメント事業	7,340
県単耕作放棄地発生防止緊急整備事業	30,235
四ツ浜(大久)漁港アルミゲート設置他施設整備	15,881
プレミアム付商品券事業補助金	6,200
町道宇和海線道路改良工事他	20,695
消防ポンプ格納庫新築事業	18,928
防災行政無線(移動系)整備事業	326,275

主な内容

追加し予算の総額を

88億3,411万円

とする

平成22年度伊方町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ

94万円を追加し予算の総額を

6億8,173万円とする

平成22年度伊方町介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ

839万1千円を追加し

予算の総額を

契約

豊の浦漁港地域水産物供給基
盤整備事業請負契約の締結に
ついて

契約金額

1億3,860万円

田中建設有限公司

足成漁港漁村再生交付金事業
請負契約の締結について

契約金額

8,022万円

藤川建設有限公司

豊の浦漁港漁業集落環境整備
事業処理場設備工事（分割1
号）請負契約の締結について

契約金額

1億6,170万円

株式会社ダイキアクシス

伊方町特定環境保全公共下水
道根幹的施設の建設工事委託
に関する基本協定の締結につ
いて

契約金額

2億8,000万円

日本下水道事業団

その他

伊方町名誉町長の選定につ
いて

伊方町湊浦

故 佐々木 長治（馨）

伊方町民として、広く社会、
文化、産業の進展に卓絶した
功績を長くたたえるため、称
号を贈り顕彰するもの

町営土地改良事業の施行につ
いて

県単独土地改良事業（かん
がい排水）

伊方町亀浦地内



平成22年度 第1回町議会議員研修会に参加



（閉会の挨拶を行う菊池孝平伊方町議会議長）



県町村議会議長会主催の「町議会議員研修会」が7月28日（水）、松前町の松前総合文化センターで県内9町の議員や事務局職員約140人が参加して開催された。

中央大学法学部の磯崎初仁教授（八幡浜市出身・地方自治論、行政学）が「地域主権時代の自治体議会・その役割と改革」と題し講演した。

磯崎教授は①「理事者提案の予算審議を主とする受け身からの脱却」②「地域に根ざした議員提案条例の制定等積極的な議会への変貌」が必要と訴えた。

また、「議会基本条例は必要か・その意義と限界」について解説したのち、締めくくりとして「松山あたりの研修会に参加（他流試合）して、議員力を磨いてはどうか」と提案した。



一般質問

通告概要

篠川 長治 議員

- 伊方町の基幹産業、農業・漁業の活性化について
- 子育て世代への支援策について
- 伊方町障害福祉計画について
- 町長や議員の政治的道義的責任等について

篠川 長治 議員



伊方町の基幹産業、 農業・漁業の活性化 について

問 伊方発電所プルサーマル計画の受け入れに伴う、核燃料サイクル交付金交付規則の交付対象には地域特有の産品等の開発及び普及その他、地域の産業振興に資する事業、地域の特性を活用して当該地域の魅力を向上する事業等のくだりがあります。

そして、国はこの核燃料交付金を伊方町の振興にしっかりと役立てるよう説明してあります。ところが、伊方町が県へ提出した核燃料サイクル交付金交付規則に基づく伊方町振興計画書には、なぜか農業・漁業など基幹産業の振興に関しては全く触れておりません。

そこで、第2期山下町政が目指す主要施策の次について、お伺いいたします。

- (一) 農業者が労働の喜びを実感することが出来る施策
- (二) 農業者の所得の安定のための手厚い施策
- (三) 漁業者が労働の喜びを実感することが出来る施策
- (四) 漁業者の所得の安定のための手厚い施策

答 核燃料サイクル交付金の事業計画で農業、漁業などの基幹産業の振興には全く触れてないと申されましたが昨年12月議会におきましても議員

のご質問にお答えを致しましたとおり、サイクル交付金事業は町民の安心安全の暮らしに必要な防災対策や災害等に備えた事業を選定したことに加え、発電所を立地しているが故に他の市町村にもまして整備充実を必要とする安心安全対策の事業を優先して計画したものであります。なお、議員が言われる第一次産業の振興につきましてもこのサイクル交付金に頼らずとも一般行政ベースの中で必要な予算を確保させていただく考えであること、今まで通り変わりはございませんのでご理解をいただきたいと思っております。

さて、ご質問の町が目指す農業、漁業の活性化のための主要施策についてでございますが、まず農家や漁家が勤労の喜びを実感することができるようになるためには、その労働に見合った所得の確保が不可欠であります。そのためには農協、漁協におきましては生産者と共にコスト削減のための取り組みを積極的に進めていただくほか新たな流通販売システムの開拓についても是非、ご検討いただきたい。また、農業分野では緊急且つ深刻な問題としてイノシシ対策や荒廃園対策等に引き続き取り組むほか漁業分野では漁獲量の確保を図るための作り

育てる漁業として稚貝や稚魚の放流や漁礁の設置などについても今まで以上に取り組む必要があります。しかしながら、これらの取り組みを進めるためには農協、漁協が中心となり生産者との十分な話し合いにより必要な対策をご検討いただきご意見を集約していただく必要があると私は思っております。町はそのご意見を尊重しそれに応える形で積極的に財政支援等の対策を具現化する、このような姿勢を基本としてきたところでございます。幸いにして今年度は伊方町総合計画の後期基本計画等を策定する年になってございます。その策定作業の中で農業、漁業関係団体や各種団体等との意見交換の席も用意いたしました様々なご意見、ご要望を伺い共に連携を図りながら必要な施策を後期基本計画に反映して参りたい、このように考えているところであります。(町長)

子育て世代への支援 策について

問 次に子育て世代への支援策では、未来を担う子供たちを町内で安心して育てることができるよう、様々な子育て支援の環境を充実する点にも、若

い世代の定住を促進する取り組みを進めると述べておられます。そこで第2期山下町政が目指す主要施策の次についてお伺いします。

- ① 町内で安心して子供を産み育てることが出来る施策
- ② 子育て支援環境の充実について
- ③ 若い世代の定住を促進する施策

現在未就学児までの医療費の無料化を中学3年生までの拡大につきましては第12回・14回定例で財源等から、その必要性について慎重に検討を重ねて早期の実現を目指して取り組む等と答弁されております。

この際、改めて中学3年生までの医療費の無料化を提言いたします。

答 町では伊方町次世代育成支援後期行動計画を策定いたしております。議員は私が目指す子育て世代への支援策について3つに分けてご質問されましたが私の考え方としては、1つの質問として説明をさせていただきます。まず、安心して子どもを産み育てることが出来る町とは私は1つは安心して働ける職場があり、経済的ゆとりが持てること。2つ目は安心して子どもを預ける場所があること。3つ目は医療及び福祉が充実していること。4つ目は教育

環境が充実していること。また若い世代の定住促進として、昨年度、湊浦に新たな公営住宅を建設いたしましたが入所者数20世帯58人の内、7世帯21名は町外からの転入者であり一定の成果を見ておるとございませう。次に中学校3年生まで医療費の無料化についてお答えします。町といたしましては子ども手当等の国の動向を見ながら医療費負担の軽減等総合的に子育て支援策を検討していきたい。このように考えております。

(町長)

伊方町障害福祉計画について

問 伊方町障害福祉計画では、第1期障害福祉計画の指針に基づき事業が推進され、中期に当たる20年度末には第1期計画の進捗状況の分析・評価を行った上で、平成23年度を目標とした「伊方町第2期障害福祉計画」が策定されております。

そこで、次についてお伺いいたします。

- (1) 共同生活援助グループホーム及び共同生活介護(ケアホーム)の整備計画について
- (2) 地域自立支援協議会が設

立されたことにより、障害者の地域生活支援向上に寄与していることと思えます。地域自立支援協議会の構成メンバーと年間開催回数についてお伺いいたします。

(3) コミュニケーション支援事業の視覚・聴覚・言語機能・音声機能等の障害のため、手話通訳者、要約筆記者の派遣を行い意志疎通の円滑化を図るとなっておりますが、手話や要約筆記者等のボランティアの養成は大切であると思っております。手話や要約筆記者のボランティア養成計画についてお伺いいたします。

答 (1) グループホームやケアホームの整備が本町の障害者にとりまして、どの程度の必要性が生じているのかにつきましてはは家族や関係機関のご意見も賜りながら検討する必要がありますが、現在のところ、具体的な整備計画はございません。

(2) 構成メンバーは障害者団体、企業、社会福祉施設関係者、行政機関の職員、学識経験者等の13名で構成されております。この組織は平成21年2月に設置し年度末の設置だったことから1回の開催でございましたが今年度は2回の開催を予定いたしております。(3) 手話通訳養成事業の実施主体は都道府県となっております

愛媛県では松山市と愛媛視聴覚福祉センターで手話通訳者の養成事業が行われております。町と致しましては手話通訳要約筆記者養成事業を充実していただくことを県にお願ひして参りたい。このように考えております。

(町長)

町長や議員の政治的・道義的責任等について

問 行政の長や議員の政治的・道義的責任等につきましては、必ずべき「法以前の問題」として大切であります。地方自治法第92条の2は、普通地方公共団体の議会の議員が、当該地方公共団体に対し請負をする者及びその支配人又は主として同一の行為をする法人の無限責任社員、取締役、執行役もしくは監査役もしくはこれらに準ずべき者、支配人及び精算人たることができな

いと規定しております。本条で言う請負とは民法上の請負契約に限らず地方公共団体の需要に依りて物品を売り渡す場合も包含すると解すべきとの判例があります。このように法は議会の議員や町長が経営している会社について請負を規制しております。瀬戸地域の需要についてある小売業者の購入実績を調べてみますと概略次のようになつております。

平成19年5月18日から12月20日まで

- 1 瀬戸給食センター 賄材料 8件
- 2 瀬戸診療所 賄材料 7件
- 3 三机保育所 賄材料 6件
- 4 瀬戸地域総・教、消耗品 4件
- 5 その他 5件

平成20年(暦年)

- 1 瀬戸給食センター 賄材料 11件
- 2 瀬戸診療所 賄材料 12件
- 3 三机保育所 賄材料 7件
- 4 瀬戸地域消耗品 6件
- 5 その他 5件

平成21年(暦年)

- 1 瀬戸給食センター 賄材料 11件
- 2 瀬戸診療所 賄材料 12件
- 3 三机保育所 賄材料 7件
- 4 瀬戸地域産・教、消耗品 7件
- 5 その他 3件

そこで、前記1、2、3の賄い材料について

- (1) 瀬戸地域における小売業者数
- (2) 瀬戸地域小売業者の各物品納入率

(3) 需要商品納入業者の決定方法

答 (1) 平成19年5月18日から平成21年12月末日までの間に瀬戸給食センター、瀬戸診療所、三机保育所の3施設に賄材料を納入した瀬戸地域の小売業者は9業者であります。(2) 瀬戸地域の各小売業者の物品納入率につきましては瀬戸地域3施設の平成19年から21年までの3カ年における各小売業者の納入総額に占める業者ごとの割合はA商店が53・32% B商店が1・91% C商店が19・09% D商店が2・69% E商店が1・99% F商店が17・71% G商店が1・27% H商店が0・13% I商店が1・89% となっております。

(3) 商品納入業者の決定方法は瀬戸学校給食センターの食材につきましては新鮮な食材を確保する観点から「移送中の温度管理」「納入時間の厳守」「年3回の保菌検査」などの条件を満たした学校給食用物資取引指定業者を登録しその商店の取り扱い食材について発注いたしております。また三机保育所及び瀬戸診療所につきましては合併前の瀬戸町当時から地元業者への発注を基本とし複数の業者を発注対象として公平に発注するよう努めています。

(町長)

【第18回臨時会報告】

第18回臨時会は5月7日に開催され、上程された議案は、何れも原案のとおり可決されました。

○寄付採納について

株式会社クリエイト伊方 代表取締役 中元 清吉
寄付額 300万円
寄付の使途 社会福祉の増進

○副町長の選任について

副町長 森口 又兵衛氏（川之浜）

○監査委員の選任について

監査委員 阿部 一寿氏（釜木）

○伊方町教育委員会委員の任命について

森 清氏（河内）

○町長の専決処分事項報告について

・平成21年度伊方町一般会計補正予算（第7号）

地域活性化・公共投資臨時交付金が予算額に対し交付決定額が34,342千円不足したことに伴い、翌年度に繰り越しして使用する歳入財源が不足するため
補正額25,712千円 累計額13,312,827千円

・伊方町税条例の一部を改正する条例制定

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、本条例の一部を改正

・伊方町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定

地方税法の一部を改正する法律及び地方税法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い
本条例の一部を改正

・伊方町税条例の特例に関する条例の一部を改正する条例制定

愛媛県森林環境税条例の一部改正に伴い、本条例の一部を改正

・伊方町国民健康保険診療所の使用料及び手数料条例の一部を改正する条例制定

診療報酬の算定方法が厚生労働省より告示されたことに伴い、条例の一部を改正

【第19回臨時会報告】

第19回臨時会は、7月16日に開催され、上程された議案は何れも原案のとおり可決されました。

○平成22年度伊方町一般会計補正予算（第2号）

3,943万円を追加し予算の総額を歳入歳出それぞれ8,838,053千円とする

○町道大成鳥津線道路改良工事請負契約の締結について

契約金額54,705,000円
有限会社 竹場建設

○町道宇和海線道路改良工事請負契約の締結について

契約金額106,050,000円
藤川建設 有限会社

○伊方町立伊方小学校校舎耐震補強工事請負契約の締結について

契約金額59,829,000円
有限会社 宇都宮組

【県町村議会議長会第1回定例会・伊方町開催】



平成22年4月26日～27日、県下9町で構成する愛媛県町村議会議長会平成22年度第1回定例会が伊方町庁舎で開催されました。これは町村合併後の各町の認識を深め、相互交流するため、各町持ち回り開催されているものです。

初日は「議長会定例会」二日目は「伊方ビクターズハウス」「亀ヶ池温泉」を視察研修しました。亀ヶ池温泉では「改めて来たい」の声も挙がっていました。

〈〈視察来町〉〉

福島県議会（5月19日）

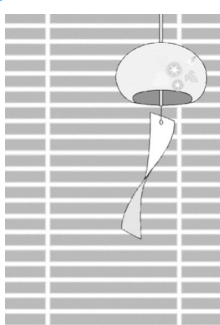
（研修内容）

- ・伊方町の概況
- ・プルサーマル計画に係る対応について

福島県双葉町議会（7月6日）

（研修内容）

- ・伊方町の概況
- ・プルサーマル導入までの経過と現状等について



編集後記
暑い日が続いておりますが、夏バテなどされてませんか。水分補給や体調管理などに気を付けて、暑さを吹き飛ばしましょう。
議会日より第21号をお届けいたします。
ご意見ご感想をお寄せください。

【きははいや伊方まつり2010】



平成22年7月25日に「きははいや伊方まつり2010」が開催されました。

佐田岬半島の夏到来を告げる伊方まつりも今年で既に21回目を迎え、当町の一大イベントに発展してまいりました。

今年は花火大会の前の「歌謡ショー」の中で本町出身のフォークソング歌手の「サスケ」さんから「ふるさと伊方のイメージのソング」のプレゼントがありました。



議会を傍聴しませんか!!

議会は、定例会と臨時会があり、定例会は条例によって、3・6・9・12月の計4回開催されることになっています。臨時会は必要に応じて開かれます。

定例会では、議員の一般質問があり、町政の様々な問題について活発な議論が行われます。

議会の傍聴は原則自由にできますので、お気軽にお越しください。

（詳しくは、議会事務局までお問い合わせください）



委員会(協議会)報告

月 日	委員会(協議会)	概 要
4月26日	議会運営委員会	第18回臨時会の運営について
6月11日	議会運営委員会	第21回定例会の運営について
6月18日	議員全員協議会	防災行政無線(移動系)整備事業について 伊方町名誉町民の選定について 伊方町総合計画ほか各種計画の見直しについて 愛媛県核燃料税交付金の概要について 介護保険事業計画施設整備事業方針について 高齢者配食サービス事業について プレミアム付伊方町内共通商品券事業の支援について 伊方町立伊方小学校校舎耐震補強工事について 条例の改正について その他 ①佐田岬斎場における葬儀活用について ②三崎総合支所元議場改修工事概要について ③町道足成国道線の事故について ④その他
7月12日	議会運営委員会	第19回臨時会の運営について

議 会 目 誌

4月26~27日 県町村議会議長会第1回定例会 5月7日 第18回臨時会 9日 第23回瀬戸地域運動会 11~12日 第7回全国原発立地議会サミット実行委員会(島根県) 16日 第22回向地区ふるさとまつり 17~19日 第35回町村議会議長副議長研修会(東京都) 19日 福島県議会企画環境委員会視察訪問 20~21日 全国原子力発電所立地市町村議会議長会幹事会(東京都) 21日 伊方町区長会 伊方町商工会平成22年度通常総代会 23日 第22回大浜地区ふるさと祭り 24日 佐田岬ツーリズム協会通常総会 伊方町商工業協同組合通常総会 例月現金出納検査(監査委員) 27日 きなはいや伊方まつり実行委員会 31日 辞令交付式 6月1・2日 全国原子力発電所所在市町村協議会総会(東京都) 4日 平成22年度八幡浜地区防犯協会通常総会 5日 第15回さらまつり 7日 名誉町民審査会 11日 議会運営委員会 14日 水道会計決算審査 例月現金出納検査(監査委員)	18日 議員全員協議会 23~25日 第21回定例会 27日 愛媛県消防操法八西地区大会 29日 町人対、人権教育協議会総会 30日・7月1日 県町村議会議長会第2回定例会(松前町・砥部町・久万高原町) 7月2日 愛媛県町村監査委員協議会臨時総会(松山市) 6日 八幡浜地区施設事務組協議会臨時会 八西地域情報基盤整備推進事業工事安全祈願祭 11日 参議院議員選挙投票日 12日 議会運営委員会 例月現金出納検査(監査委員) 13日 愛媛県後期高齢者医療広域連合議会第2回臨時会(松山市) 16日 第19回臨時会 21日 全国原子力発電所立地市町村議会議長会役員会総会(東京都) 22日 国道197号地域高規格道路建設促進期成同盟会国土交通省四国地方整備局要望(高松市) 25日 きなはいや伊方まつり2010 27日 国道197号地域高規格道路建設促進期成同盟会知事要望(八幡浜市) 28日 平成22年度第1回町議会議員研修会(松前町) 8月1日 瀬戸の花嫁まつり 2~10日 決算審査
--	--